

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月31日(2023.3.31)

【公開番号】特開2021-175419(P2021-175419A)

【公開日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2021-054

【出願番号】特願2020-80899(P2020-80899)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/15(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/15

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月23日(2023.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼を撮影する眼科撮影装置であって、

筐体を有し、前記被検眼から前記筐体正面までの撮影距離が異なる第1撮影モードと第2撮影モードとを変更することが可能な、前記被検眼を撮影するための撮影手段と、

前記撮影手段のアライメント位置を検出する検出手段と、

前記検出手段の検出結果に基づいて、前記第1撮影モードによる撮影時の前記アライメント位置である第1アライメント位置を取得し、前記第2撮影モードによる撮影時は、前記第1アライメント位置に基づいて設定した目標位置へと、前記撮影手段を誘導するための制御手段と、

を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

30

【請求項2】

請求項1の眼科撮影装置において、

前記撮影手段は、前記被検眼に対物光学系を介して測定光を照射し、前記測定光が反射された反射光に基づいて前記被検眼を撮影する、撮影光学系を有し、

前記第1撮影モードと前記第2撮影モードとにおいて前記対物光学系が切り換えることで、前記撮影距離が変更されることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項3】

請求項2の眼科撮影装置において、

前記被検眼と前記撮影手段との間に装着可能な、前記対物光学系を切り換えるための切換光学系を有す、光学アタッチメントを備え、

前記撮影手段は、前記第1撮影モードと前記第2撮影モードとにおいて前記光学アタッチメントが着脱されることで、前記撮影距離が変更されることを特徴とする眼科撮影装置。

40

【請求項4】

請求項3の眼科撮影装置において、

前記第1撮影モードは、前記光学アタッチメントが装着されない状態にて前記被検眼を撮影するモードであり、

前記第2撮影モードは、前記光学アタッチメントが装着された状態にて前記被検眼を撮影するモードであることを特徴とする眼科撮影装置。

50

**【請求項 5】**

被検眼を撮影する眼科撮影装置にて用いられる眼科撮影プログラムであって、  
前記眼科撮影装置のプロセッサに実行されることで、  
前記被検眼から、前記被検眼を撮影するための撮影手段における筐体正面までの、撮影距  
離が異なる第1撮影モードと第2撮影モードとを変更する変更ステップと、  
前記第1撮影モードによる撮影時に、前記撮影手段のアライメント位置を検出する検出ス  
テップと、  
前記第2撮影モードによる撮影時に、前記アライメント位置に基づいた目標位置へと、前  
記撮影手段を誘導する誘導ステップと、  
を前記眼科撮影装置に実行させることを特徴とする眼科撮影プログラム。

10

20

30

40

50